

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3770102295
法人名	株式会社山本アソシエイツ
事業所名	グループホームやすらぎ
所在地	香川県高松市天神前5番22号 (電話) 087-837-1515

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年11月16日	評価決定日	平成20年2月21日

## 【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 5月 21日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	21人	常勤	11人、非常勤 10人、常勤換算 18.5人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 10階建ての4階～6階部分
------	-----------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	46,500円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,100円				

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	27名	男性	10名	女性	17名
要介護1	1名	要介護2	6名		
要介護3	9名	要介護4	5名		
要介護5	6名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.59歳	最低	59歳	最高	99歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	やまもと医院、松本歯科
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは市街地の中心部にあり、旧ビジネスホテルを改修したビルの4階から6階の限られた空間ではあるが、各階の内装や照明を工夫し、やすらげる空間を演出している。各ユニットごとに目標を定め、利用者の生活を支えていこうとする職員の熱意がケアの場面で随所に感じられ、食事時間・食事のペース・入浴時間等、利用者一人ひとりの日常生活リズムを大切にしたい、きめ細かい配慮が行われており、利用者も穏やかな雰囲気である。また、身体拘束廃止、介護事故防止、感染予防等の各種マニュアルの整備や対策委員会の実施等により、利用者の安全確保への取り組みを積極的に実施している。これらの背景と関係医療機関との連携が十分になされていることもあり、看取りへの対応が積極的に行われている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員のホーム内での研修機会については、月1回の会議の中に盛り込み、外部研修の資料を配布する等、改善努力している。また、市町との連携強化については、運営推進会議への参加だけでなく、ホームから出向いていく等、連携強化に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価はユニットごとの会議で取りあげ、リーダー会議、運営推進会議を経て提出しており、全体的な取り組みが実施されている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>生活状況の報告や行事予定等だけでなく、評価への対応や安全対策等も議論されている。その中で、水不足への対策として、地域の方から井戸水の使用提供の提案を受けるなど、運営推進会議を活かした地域交流への取り組みも行われている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時に積極的に家族に声をかけて、近況報告・要望の聴取等が行えている。苦情所は設置されているが、投書につながっていないため、アンケートや話し合いの機会を設け、意見・要望をくみ取り、運営に反映できる取り組みに期待したい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近所の方や周辺小学校との交流もあり、外部で開催されるイベントにも積極的に参加している。また、主催の祭りを定期的開催し、組織の地域開放を行っている。現状の努力に満足することなく、地域の自治会・老人会等との交流につながるよう更なる努力に期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域福祉に貢献するグループホームを目指し、地域との交流を積極的に実施している。また、終末までのケアを目指して、研修やマニュアル作成、職員配置、連携等の体制が整備されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員がいつも理念が確認できるように、名札の裏に理念を記載する等の工夫をしている。また、定例会議の中で話し合い、共有することにより、理念に基づいた各ユニットごとの目標を設けている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の方や周辺小学校との交流もあり、外部で開催されるイベントにも積極的に参加している。また、主催の祭りを定期的に開催し、組織の地域開放を行っている。	○	現状の努力に満足することなく、地域の自治会・老人会等との交流につながるよう更なる努力に期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価に関しては、ユニット会議、リーダー会議、運営推進会議等でも議題として取りあげ、職員の研修機会の増加や、市町との連携強化等の改善結果を残している。	○	意欲の現れでもあるが、自己評価の取り組んでいきたい項目に○印が多いため、改善に向けた対策が明確になり難いと思われる。自らの長所・短所を明確にし、確実に改善につながる取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	生活状況の報告や行事予定等だけでなく、評価への対応や安全対策等も議論されている。その中で、水不足への対策として、地域の方から井戸水の提供提案を受けるなど、運営推進会議を活かした地域交流への取り組みも行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町とは運営推進会議に参加していただくだけでなく、ホーム自ら出向いていく等、連携強化に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回の近況報告等を行っている。また、面会時には丁寧に近況を説明しており、体調不良等で急を要する場合は、個別に電話連絡等を行っている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に積極的に家族に声をかけて、要望の聴取等が行えている。苦情所も設置されている。</p>	○	<p>苦情所は設置されているが、投書箱の設置がないため、投書につながりにくい状況になっている。意見箱の設置、アンケートや話し合いの機会を設け、意見・要望をくみ取り、運営に反映できる取り組みに期待したい。</p>
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>なるべく異動のないように配慮している。退職等でやむを得ず異動する場合でも、少しでも馴染みのある職員を異動するように配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ユニットリーダーが援助場面で適切なアドバイスをして、現場で育成できるようにしている。また、月1回の会議の中に盛り込み、必要な知識が学べるようにしたり、外部研修の資料を配布する等の工夫を行っている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会主催の研修等に積極的に職員を派遣し、研修等で知り合った人との交流を通じて、他のグループホームでの取り組みを当ホームの取り組みに反映させている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に訪問を行い、馴染めるように入居時の持参品を考えてもらったり、十分な聞き取りから、コミュニケーションのとり方を考える等の工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の話を十分に聞き、したい行動に対して、優しく対応することを基本とし、自立支援を考え、できることはしてもらい、見守るようにすることで、共に過ごす関係づくりをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「買い物に行きたい。」「手紙を書きたい。」「レクリエーションはしたくない。」等、その場面での利用者の意見、動作、表情から対応方法を判断している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、主治医等の意見を聴取し、参加可能な家族にはサービス担当者会議に参加してもらい、意見が反映できるような計画を作成している。	○	いただいた意見を反映した計画を作成しているが、記録から漏れている部分があるため、第三者が確認できるような記録整備を期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに見直しを行っている。また、体調が変化した場合も、必要に応じて計画を変更している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	計画していたレクリエーションでも、「したくない」との要望があれば、随時変更等の対応をしている。入浴や食事等の生活スケジュールは、その場の利用者に応じて対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院体制は確保されているが、本人や家族の意向により、協力病院以外への受診、連携等を個別に対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の意向を事前に確認し、マニュアル、研修等の看取れる体制を整備している。夜勤は、看護有資格者を1名配置する等の工夫もあり、看取りの事例もある。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護規程を定め、規程に基づき、書類の持ち出し禁止等を実践している。生活場面でも、居室ドアの戸締りの徹底やカーテンの使用等で、プライバシーに配慮した援助が行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家具、写真、手芸品等の居室環境をその人らしいものに整えたり、朝起きれない方の朝食時間を遅らせる等の対応もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テレビを消し、ゆったりとした音楽が流れる中で、職員が寄り添い共に食事をしている。週1回、一緒に作る食事の場を設け、食べたいものに配慮し、共同調理を心がけている。また、2日に1回は手作りおやつも作っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回を基本としているが、希望により随時対応している。失禁時はすぐに対応したり、同性介助に配慮する等、工夫している。コミュニケーションを多くとることにより、楽しんでもらえるような対応をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯たみ、食器の返却、掃除等、その人のできる役割を見つけ出し、活かせるような支援をしている。	○	現状に満足することなく、より利用者の力を活かした活動を展開して欲しい。特に、重度の利用者の役割への支援に期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ショッピングや散歩だけでなく、周辺公園で開催されるイベントへの参加、見学や周辺高層ビルの展望台へ出かける等、周辺環境に応じた独自の対応をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアの開閉時に呼び鈴を設置し、ホールには常に職員を配置する等の工夫により、鍵をかけない取り組みが行われている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	各種マニュアルが整備され、職員に周知徹底されている。また、定期的な避難訓練・消防訓練も実施され、スプリンクラーや煙感知器等の設備も整っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外注先の栄養士によるカロリー計算がされている。食事量や水分量の把握にも努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニットごとに色彩変化等の工夫を施し、テーブルや椅子も落ち着いた雰囲気になっている。廊下には絵画が飾られ、空間への配慮が随所に取り入れられている。また、清掃も十分に行われ、清潔感がある。	○	異食行為への配慮もあるが、花などの季節感を感じさせるものが少なく、より一層の努力に期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や電気製品等の持ち込みにより、住み慣れた環境を整えるだけでなく、写真や手芸品等の居室環境をその人らしいものに整えている。		